

2022年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制											
マンガ制作実習 4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	いづみやおとは			実務 経験	有	職種	マンガ家				
担当教員紹介											
マンガ家。4年制の1年次の授業をメインに担当。 主な作品に、一迅社『死神アリス』、コアマガジン『純恋プリズン』がある。現在は、T0ボックス『リタイヤした人形師のMMO機巧叙事詩』を連載中。											
授業概要											
この科目では、マンガ制作における技法や知識を、各制作工程のプロット・ネーム・下描き・ペン入れ・仕上げに合わせて習得を行っていきます。各工程において必ず講師又は教員がチェック行い、漫画業界の編集者と同じく形式と同様な流れを組むことによって、作品を作るだけでなく『仕事として制作を行う意識』も身に着けていく。業界研究も含め、既存の作品と自身の作品を比較しながら商業作品としてのクオリティや流行にも目を向けて取り組んで行く。											
到達目標											
この科目では、各授業でのレクチャーと、後期期間を通して制作を行う読切作品を元に、日本の漫画を作る上で基本となる技術と知識を身に着けることを主目標とします。この授業内での制作物はアナログでの制作を主として、デジタルとアナログ共に制作が行える人材を育成する。各提出物の期限や、読切作品の制作における各工程でのチェックを厳守することにより、作品制作を通して仕事としての感覚を身に着けることも目標とする。完成した作品は必ず出版社への持込み又は投稿を行い、デビューに向けた活動を行う。											
授業方法											
この授業では、漫画制作において基礎となる考え方や技術を、1本の読切作品の制作を通して身に着けていく。読切作品以外にも、各授業で技術習得の為に小課題をアナログで制作することにより、多種多様な道具や環境においても作品を制作できる技術向上を養う。各課題は全て締め切りを設け、仕事としての感覚も身に着けていく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な									
履修上の注意											
この授業では、アナログでの制作における基礎技術及び、アナログ表現の習得度を確認するために課題制作を実施するため、授業内ではしっかりと先生の話を聞くだけでなく、必ずメモを取るように指導を行う。後期期間を通して制作を行う読切作品を、各工程毎にチェックを行い、適切な仕事としての意識を養うため、遅刻や欠席は認めない。4分の3以上の出席をしない者は、課題の評価対象にならない。完成した作品は必ず持込み又は投稿を行う。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	構成方法『序破急』を理解する/修了制作16P以上の読切作品のプロット制作										
第2回	ハリウッド式の構成方法『三幕構成』を理解する/修了制作のプロット制作										
第3回	細身・肥満などの体型変化を理解する/修了制作のネーム制作										
第4回	ボディーランゲージで表現する/修了制作のネーム制作										
第5回	哺乳類・鳥類の構造を理解する/修了制作のネーム制作										

2022年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制	
マンガ制作実習 4	
第6回	魚類・昆虫の構造を理解する/修了制作の下描き制作
第7回	自転車・バイク等の二輪車の構造を理解する/修了制作の下描き制作
第8回	軽自動車・大型バス等の四輪車の構造を理解する/修了制作の下描き制作
第9回	階段・高低差をつけた背景の作画/修了制作のペン入れ制作
第10回	3点透視について理解する/修了制作のペン入れ制作
第11回	時代・世界観による建物・小物の違いについて理解する/修了制作のペン入れ制作
第12回	マンガ表現で使われるフレーズを理解する/修了制作の仕上げ制作
第13回	キャラクター設定による喋り方を変化させる/修了制作の仕上げ制作
第14回	修了制作の仕上げ制作
第15回	自身の作品を受講者全員にプレゼンを行う 他者の作品に触れる